

# 平成26年度 高山市政クラブ行政視察報告書

## 1. 視察日

平成26年11月11日（火）

## 2. 視察先

石川県金沢市

## 3. 視察項目

食文化かなざわ大会2014「食をテーマとした観光客誘致手法について」

## 4. 視察の目的

食文化かなざわ大会参加による視察

## 5. 視察内容

### ア. 概要

食をテーマとした観光客誘致手法について

平成25年9月議会で「金沢の食文化の継承および振興する条例」が制定され、食や食文化を都市の活性化につなげる方策として、「食文化かなざわ大会2014」が開催されることとなった。

加賀野菜のブランド化の講演会に続き、日本海の家産物などの食材を使用した交流会を開催し、食を通じた交流を促進している。

### イ. 効果

講師の松下良氏は昭和4年生まれ、種苗店の5代目で現岐阜大学農学部卒。

金沢を東西南北にみると野菜の違いが判る。北は湿地の為、レンコン・クワイが、南はサツマイモが、東は米・たけのこが、西はスイカ・うり等がとれ、地産地消のもと「加賀野菜」をブランド化した。

京野菜は名前のみで産地がない中、加賀での伝統野菜を守ろうと、種を採り固定種を守ることとし「サツマイモ・レンコン・たけのこ・加賀太きゅうり・金時草・加賀つるまめ・へた紫なす・源助だいこん・せり・かぼちゃ・赤ずいき・くわい・金沢一本ねぎ・からし菜・金沢春菊」の15品目をブランド化し、日本海の家産物と併せて東京をはじめ全国に情報発信している。

### ウ. 考察

高山においても、食材は豊富であり宗和流をはじめとする和食文化とお座敷文化の一体化や、観光地飛騨高山としての誘客に向け、「春は芽もの、夏は葉もの、秋は実もの、冬は根もの」などの四季を通じた食材による食事の提供が大切と考える。

# 平成26年度 高山市政クラブ行政視察報告書

## 1. 視察日

平成26年11月12日（水）

## 2. 視察先

石川県金沢市（金沢学生のまち市民交流館にて）

## 3. 視察項目

協働まちづくりチャレンジ事業について

## 4. 視察の目的

「協働のまちづくりチャレンジ事業」の経緯と課題

## 5. 視察内容

### ア. 概要

協働まちづくりチャレンジ事業について

金沢市においては、「市民参加および協働の推進に関する条例」が制定され、それに合わせて「協働のまちづくりチャレンジ事業」が実施されている。

### イ. 効果

金沢における「市民参加および協働の推進に関する条例」の前文で、金沢の独自性・協働のまちづくりの必要性・協働による市政の推進をうたい、市民参加の基本原則では「協働による市政の実現」を、市民および市の役割では「市民の役割は、市全体の公共の利益を考慮した市民参加・自らの発言と行動に責任を持った市民参加」、「市の役割は市民参加の機会の提供・市民参加を推進するための必要な措置・積極的な情報提供および公開・市民ニーズの反映・地域コミュニティとの協働」としている。

市民参加の手続きは「パブリックコメント手続、審議会」などをあげ、推進施策の実施では「推進計画の策定や人材育成・活用と市民会議の設置」を協議機関としている。

### ウ. 考察

高山市においては平成27年度から各地域で協働のまちづくりが実施される。先進地の金沢市では、協働をすすめる市民会議で「協働をすすめるルールブック」やDVD「協働劇場」を制作し、平成26年度には協働推進グループとチャレンジ運営グループを作った。

チャレンジ事業では市民・学生団体等から市民と市が協働で取り組む企画を募集し、年40万円以内の委託料で実施している。

事業は、新しい公共部門・プレチャレンジ部門・コミュニティ支援部門・学生まちづくり部門の4部門に分かれており、募集・書類審査・公開プレゼン審査・事業成果発表等行っている。

チャレンジ事業で採用となる予算要求は関係部局で行うが、支払いはチャレンジ事業担当から支払う。

この事業の効果は、

1. 行政職員の協働に関する意識改革
2. 人的地域資源の発見（専門・機能を有する団体）

3. 既存の枠にとらわれない新規施策

4. 市民の自主・積極的まちづくり意識とある。

今後の市民参加と協働による行政の推進については、市民一人ひとりが、

1. 社会のなかでの役割を認識

2. 主体的にまちづくりに参画

3. まちに愛着をもつ（責任と誇りを持てるまち金沢）などなどである。

高山市は、各団体の代表者が中心のまちづくり、金沢市は各団体提案のまちづくりである。

なお、審査委員は任期2年で報酬はなし、会議1回につき3,000円の交通費のみ。46万人の市がチャレンジ事業に使う予算は年間600万円であり、様々なアイデアや、コストをかけた工夫も大切である。